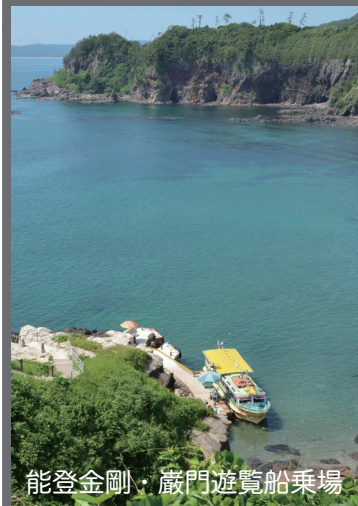


# 清友

No. 24

2011年8月



能登金剛・巖門遊覧船乗場

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

## 夏期学習会



「清掃職員は給料が高過ぎる」「有給休暇を取り過ぎる」「技能長は馬鹿ばかり」「職員をもっと減らせる」「年寄り連中がこんな生ぬるい職場にしていた」「等々、特別区職員研修所講師の差別発言です。

事件に対する取組みにより、研修内容が講師の一存で決められていたことや、研修所担当者が講義に立ち会っていない等のさまざまな事務は一部改善されました。

当該の講師は当初「言葉不足、配慮不足」と自らの発言を正当化、差別意識に基づくことを認識しませんでした。謝罪文が提出されましたので、事実確認は一定の区切りとし

## 続出する清掃差別事件は特別区の清掃事業に 対する姿勢を問うている

7月22日に「特別区職員研修所講師

による差別発言事件を考える」をテーマに夏期学習交流会を開き、東京

清掃染書記長から経過と今後の取組みについてお話を聞きました。



て、このようなことが起きた原因の解明と対策に協議の比重を移すことにしました。

一方、残念ながら、新たに二つの事件が起きました。

一つは別の研修所講師が研修で「勤務時間内の洗身は問題」「本来業務に従事して特勤手当が支給されるのはおかしい」と、判例や労使確認をないがしろにする発言をしたことです。

ただし、直後に研修所が研修生に「発言の訂正」をして陳謝。講義全体の流れは問題がなく、講師も自らの無知を反省しましたので、収束へ向けた協議に入



学習会の後は懇親会

これらの事件に共通するのは、23区当局が過去に発生した清掃差別事件を踏まえた職員研修や住民広報を行っていないこと、その背景には清掃事業を大事にする覚悟が欠如していることにあると思います。23区当局の姿勢を変える取組みが重要です。

もうひとつは、もろ出しの差別事件です。中野区で発生しました。

有料シールの不適正な貼付や分別の不徹底を再三注意し、取り残したところ、ごみ袋に「だまってもってけ糞ゴミ屋」と書かれていたのです。

排出事業者は、「ごみは出したが、落書きはしていない」の一点張り。中野支部は区当局へ原因究明と再発防止を求めて申しました。

りました。



差別落書きされたごみ袋

# 第2回幹事会

7月22日に第2回幹事会を開催し、①高齢者集会、②都庁退親睦交流バスツアー、③東京清掃ボウリング大会、④原発さよなら集会、⑤秋期学習交流会、⑥秋の旅行会の対応方法等を確認しました。

## ■高齢者集会の対応

9月14日と15日に開催される高齢者集会は、今年も各単会に参加者数が割り振られました。清掃は両日とも2名様です。三役・幹事が対応することになりました。

## ■都庁退親睦交流バスツアーの取扱い

9月21日に、都庁職員退職者連合会の親睦交流バスツアーが開催されます。

今年は群馬県の川場村・世田谷区民健康村を訪ねるツアーです。川場村は世田谷区との合併問題で注目されましたが、深い交流があります。

この親睦交流バスツアーには昨年からの清掃も参加することになりました。単会役員クラスを中心とした親睦を目的としており、一般的なバスツアーとは違う公式行事の要素もあります。昨年は参加者に参加

の半分を会から助成することになりました。

## ■秋期学習交流会等

東京清掃ボウリング大会、原発さよなら集会、秋期学習交流会、秋の旅行会の取組み方を確認しました。確認した内容は別に掲載した記事のとおりです。

費を自己負担していたが、昨年の参加者の感想を踏まえ、参加費

## 私たちの医療と年金はどうなる？ ～秋期学習交流会に参加ください～

政治の混乱により「高齢者医療制度改革」が一向に進まない中、東日本大震災復興財源の関係で年金を含む社会保障が…、私たちの医療と年金がどうなるか、心配の種はつきません。

●日時 9月27日(火)

午後1時半開会

●場所 SKホール(清掃会館地下1階)

●テーマ

医療と年金、税制に対する地公退の取り組み(政治情勢によりテーマが変わる可能性があります。)

●講師

川端 邦彦氏(地公退事務局長)

※学習会終了後、概ね3時頃から交流会をもちます。

## 信州奥座敷不動温泉の旅 (猜友会親睦旅行案内)

■日程 11月9日(水)～11日(金)  
(2泊3日)

■会費 37,000円  
(旅行費36,000円・懇親費1,000円)  
※会費は出発日当日いただきます。

■宿泊 不動温泉 華菱  
〒965-0813 長野県飯田市東山町  
TEL 0265-47-2321

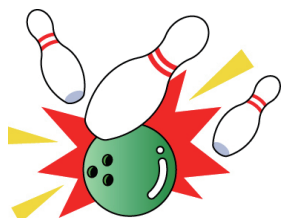
■集合場所 新宿駅西口・安田生命ビル前  
■集合時間 午前8時(※集合次第出発)

■行程 新宿西口→駒ヶ根(昼食)→光前寺(参拝)→飯田・水引工芸(見学)→不動温泉(泊)ホテル→木地師の里(見学)→妻籠宿(見学)→寝覚の床(見学・昼食)→ホテルホテル→信州物産センター(買物)→元善光寺(参拝)→八ヶ岳(昼食)→新宿西口

■申込み 9月早々に申込み書を送付。

## 9月10日に東京清掃ボウリング大会

東日本大震災の関係で延期していた東京清掃本部主催のボウリング大会が、9月10日午後5時30分、東京ドームボウル(後楽園)で開かれます。各地連15・本部2・青年部2・退職者会1の20チームが参加する予定です。退職者会チームは延期になった大会と同じ戸張さん、岩淵さん、馬鳥さん、柳さんで、歴戦の古?強者ぞろい。大会終了後、SKプラザに戻り表彰式と懇親会が開かれます。応援可能な方はふるって参加ください。



# 都庁退学学習交流集会

## 都共済の年金経理は既に赤字

7月10日・11日、市町村共済保養所「シーサイドいづたが」にて都庁職員退職者連合会の学習交流集会在開催されました。

学習内容は、①都共済年金制度の現状と課題、②4課題（年金・医療・介護・税制）に関わる退職者連合の取組みでした。

「都共済年金制度の現状と課題」について、都共済年金課長を講師に迎えお話を聞きました。都共済組合の年金経理の収支状況は組合員数が減少し年金受給者の増加していることにより悪化の一途をたどっています。昭和48年度と平成22年度の組合員数と年金受給者の比較は表のとおりで、これにより平成13年度

以降赤字になっており、年金原資の長期給付積立金を取り崩しています。積立金は平成30年度には枯渇し、資金不足に陥ると想定されています。資金が不足した場合は、地方公務員共済組合連合会から資金の交付を受ける仕組みになっていますが、優良といわれてきた地公共済年金も赤字になる時代に入っています。

### ○都共済組合組合員・年金受給者

|       | S 48   | H 22   | 増△減  |
|-------|--------|--------|------|
| 組合員数  | 16.5万人 | 12.5万人 | △4万人 |
| 年金受給者 | 1.5万人  | 14.5万人 | 13万人 |

年金制度をどうするか、社会保障制度はいかにあるべきか、その財源をどうするかが問われています。その一方の考え方を、学習課題の2「4課題（年金・医療・介護・税制）に関わる退職者連合の取組み」で、木村寛退職者連合事務局次長（元・都労連書記長）が説明しました。これらについては、下手な解説をするより、9月の清掃退職者会学習交流会のテーマですので、そちらで学びたいと思います。

## 退職者会活動日誌

＊6月6日の第1回幹事会以降7月22日の第2回幹事会まで  
 ▼6月6日、公務労協「社会保障学習会」が日本教育会館で開催されました。東京清掃本部から参加するよう連絡があり、

庄司事務局長が参加しました。大震災の影響により社会保障改革は進んでいないが、連合としてよりよい制度の確立へ向けて努力することが示されました。

▼6月7日、自治労「年金集会」が日本教育会館で開催され、東京清掃本部とともに戸枝会計が参加しました。短時間雇用者の厚生年金移行、最低補償年金、自営業の所得比例年金、2号・3号問題などが年金制度改革検討の焦点になっています。

▼6月24日に、国鉄闘争共闘会議総会がSKホールで、国鉄闘争「感謝のつどい」がホテルメトロポリタンエンドモントで開催され、庄司事務局長、戸枝会計が参加しました。国鉄闘争は概要を7月号で報告したとおり終結しましたが、「団結まつり」は今年も継続開催します。

▼6月25日に労働行政職員退職者会の定期総会が都議会棟ホールライトで開催され、渡辺会長が

参加しました。

▼6月28日、自治退関東甲定期総会が湯河原で開催され、庄司事務局長が代議員として参加しました。総会の模様は7月号で報告したとおりです。

▼7月10日と11日に市町村共済保養所「シーサイドいづたが」で都庁退学学習交流集会在開催され、庄司事務局長、小林事務局次長、岩渕会計監査が参加しました。内容は別記のとおりです。

▼7月11日、学習交流集会场で都庁退役員会が開催され、庄司事務局長、岩渕会計監査が参加しました。主な議題は、9月の高齢者集会和都庁退親睦交流集会バスツアーの取組みでした。

▼7月17日、東京清掃組織集会在文京区民センターで開催され、戸張副会長、庄司事務局長、小林事務局次長、戸枝会計が参加しました。内容は別記のとおりです。

▼7月22日、第3回三役会と第2回幹事会を開催。幹事全員参加。会議の内容は今号の報告のとおりです。

▼7月22日開催の清掃退学学習交流会の模様は別記のとおり。

▼事務局会議・事務業務は、6月2回、7月3回。主な課題は、当面の行動企画、住所録作成、機関紙等発送の取組みなどでした。

## 東京清掃組織集会

- ▼ 区移管以降の清掃事業のあり方が問われている
- ▼ 東京清掃の組織問題に深く関わる公務員制度改革



7月17日、文京区民センターで東京清掃組織集会が開催されました。例年1泊か2泊で開催していますが、今年は東日本大震災を考慮して一日開催になったとのことでした。

集会は2部構成で、午前中は収集部門の予算人員闘争(報告・世田谷)、清掃一組の予算人員闘争と工場運営、3月に取組まれた仙台市災害廃棄物処理応援の報告、午後は公務員制度改革について、藤川公労協副事務局長と森下自治労現業局長の講演がありました。

一方、公務員制度改革により、①非現業にも労働協約権が付与され、②人勸制度が廃止されて「自律的労使関係」が確立されます。

東京清掃にとり、23区統一交渉を維持できるか、現業労組の規定がどうなるかが焦点であり、単組としての存立基盤が危うくなる可能性もあります。東京清掃の組織形態を巡る動向を見守りたいと思います。

が拡大しています。

清掃工場では飛灰から高濃度放射性物質が検出されました。これも問題ですが、水銀混入ごみ搬入問題が再発しました。23区が各区バラバラの分別方法でよしとし、排出指導責任を事実上放棄していることと無関係とはいえません。

また、東日本大震災復興支援は、清掃課長会との協議により、23区一体の取り組みを進めました。23区のスケールメリットを活かしたかという面で疑問が残ります。ここにも清掃事業に対する23区の姿勢が示されています。東京清掃最大の課題はこうした23区の姿勢を変えることです。

## 9月19日に大集会

### さようなら原発

### 1000人アクション

脱原発・持続可能で平和な社会をめざして



3月11日の東日本大震災により、福島第一原発の1号炉から3号炉までが炉心溶融し、高濃度の放射性物質を大量に放出する最悪の事態が発生しました。

放出された放射性物質は、地域の住民や労働者だけでなく、まだ生まれていない将来の子どもたちの健康と生命にとっても、計り知れない悪影響を与えるものと危惧されます。人間の生存を脅かす計り知れない原子力エネルギーの恐怖と犠牲を、未来に残してはなりません。

内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔さんの呼びかけで「さようなら原発1000万人アクション」の取組みが進められています。

9月19日(月・敬老の日)、午後1時30分から明治公園で集会を開催し、デモをします。当日は祝日作業日なので、東京清掃現役世代の大量参加が難しい日です。こういうときこそ全日制市民の出番です。

退職者会は、メーデー並みの態勢で臨むことにしました。まだまだ暑い時季ですが、参加いただくと幸いです。